

やまぐちっ子学力向上だより

第 7 0 号 H28.1.5
山口県教育庁義務教育課

前号に続き、本号は、学力向上の4つの重点取組事項の中から、「指導方法の工夫改善」について、効果的な取組を紹介します。

特集2 指導方法の工夫改善

1 授業交換による授業改善

小学校では、学年に複数の学級がある高学年で、授業交換が積極的に行われており、教師の意識改革、授業力向上、児童理解、子どもの安心感等の成果が聞かれます。中には、高学年だけでなく、学年の枠を超えた授業交換を行っている学校もあります。

岩国市立美和西小学校は、各学年1学級の小規模校ですが、今年度、学校全体で児童を指導する体制の構築のために、授業交換に積極的に取り組んでいます。初めての取組ということで、以下のように、ミドルリーダーによる試行期間を踏まえ、組織的な取組へと発展させています。

◇ ミドルリーダーによる授業交換モデル

- 1 指導力のあるミドルリーダー（3年担任と6年担任）が、年間通して算数で授業交換を行う。
- 2 授業交換した3年と6年の授業を若手教員等が参観し、その後、情報交換・意見交換を行う。
- 3 7月までの実践や児童アンケートなどをもとに、成果と課題を共有し、夏季休業中に実施に向けた準備（日課表の再編成、学習ルールの統一、教材研究等）を行い、2学期以降、若手を含めた他の教員も、算数で授業交換を開始する。

指導力のあるミドルリーダーの実践や助言のおかげで、若手教員も安心して授業交換を開始しました。若手教員は、児童の発達段階の理解や学習の系統性を学び、指導力を向上させています。また、チームで児童を指導していくという、先生方の意識もさらに高まっています。



2 生徒の授業評価による授業改善

◇ 生徒の声を即生かす～「生徒インタビュー」

岩国市立岩国中学校では、授業づくり拠点校研修会における各分科会（国語・社会）の協議に入る前、生徒の声をすぐに授業改善に生かすことをねらって、代表生徒への「**生徒インタビュー**」を行いました。以下は、国語分科会（「夏草—おくのほそ道から」授業者：池藤壮士教諭）でのやり取りの一部です。



国語分科会における「生徒インタビュー」の様子

- 教員：（3つの発問のうち）もっと考えてみたかったことは、何ですか。
生徒：初めは直感だったので、蝉が単数なのか、複数なのか、理由を深く考えてみたかったです。
生徒：「岩にしみいる」の「しみいる」を、みんながどう感じていたのか、もっと聞きたかったです。
教員：蝉が単数か、複数か、立場を先生が決めて、話し合いをしたのはどうでしたか。
生徒：自分とは反対の立場に立って考えたのですが、自分の考えを広げることができたと思います。

岩国中学校では、授業評価シートを活用した授業評価だけでなく、「授業はどうだった？」「よくわかった？」など、教員が生徒に積極的に尋ね、生徒の思いや考えを授業で生かすように努めることで、「**授業の主役はわたしたち(生徒)だ**」という生徒の意識の高揚を図っています。

3 課題を焦点化した研究の推進

下関市立王司小学校では、平成26年度国立教育政策研究所指定校事業として、算数の「割合」指導の研究に取り組みました。今年度はその研究成果を生かし、教員(担任)が替わっても、継続した指導を行うよう心がけ、日々の実践に取り組んでいます。

◇ 割合部会の取組

割合部会では、割合の学習につながる各学年の学習内容を整理した『割合』の**概念系統表**と、6年間を見通した系統的な指導を行うため、数量関係を図式化して立式につなげる**【学びのアイテム系統表】**を作成しました。

※別紙として付けていますので、参考にしてください。

◇ 学びのアイテム

「学びのアイテム」とは、絵図、テープ図、線分図、関係図、2本線数直線図のことです。王司小学校では、低学年から絵図やテープ図を、中学年から線分図や関係図、2本線数直線図を使うことができますよう、各学年で指導を徹底させています。

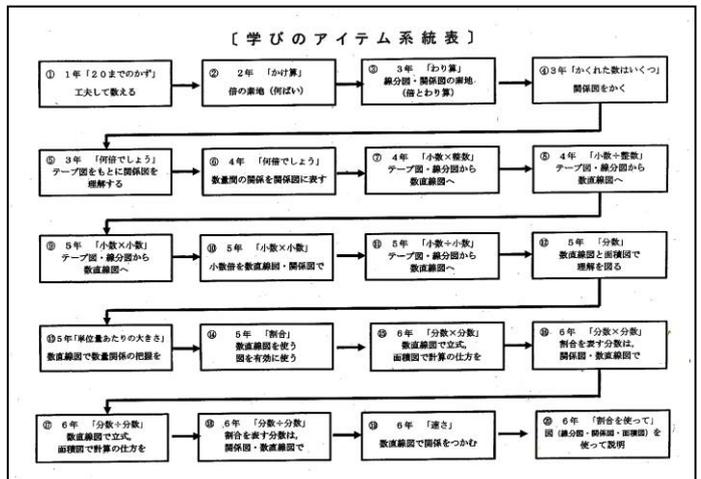
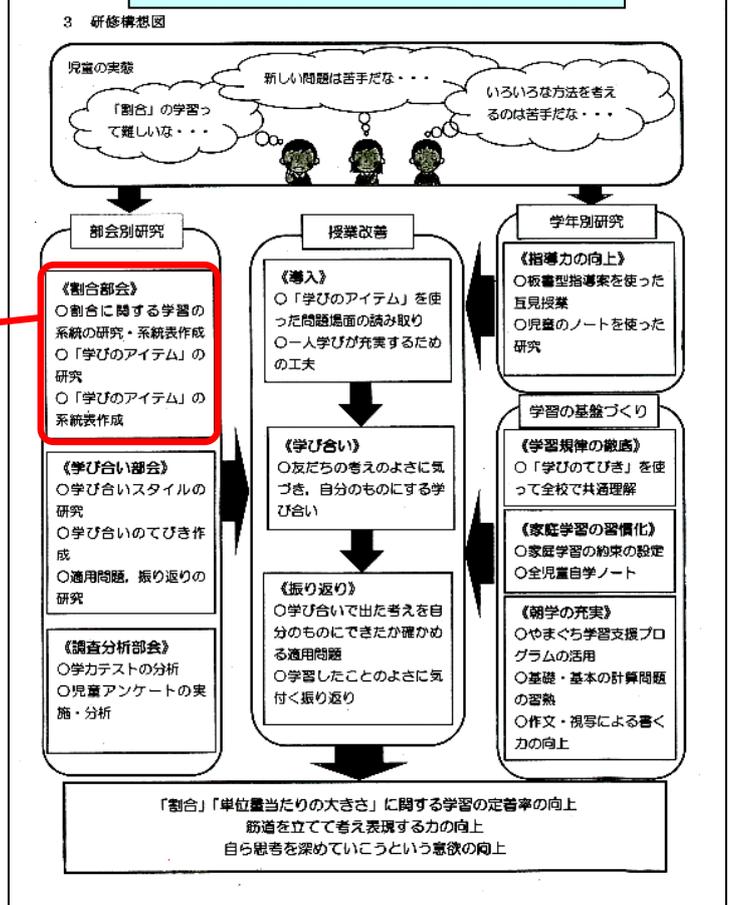
◇ 2本線数直線図の活用

数量関係をつかませるための有効なアイテムとして、2本線数直線図を、4年生の「小数×整数」から使わせています。2本線数直線図は様々な言葉や数、式を書き込むため、素早く丁寧に書くノート指導を、低学年から積み重ねることが大切です。

2本線数直線図のかき方

- (1) 問題文を読み、問題の整理をする。
対応する値の組を2つ見つける。
(割合の場合は、もとにする量が1と対応)
- (2) 2本線数直線図をかく。
① 2本線、0をかく。
② もとにする量をかく。
(1つ分 1つ分の大きさ 単位)
③ くらべる量をかく。
(いくつ分 いくつ分の大きさ)
④ 1つ分からいくつ分の向きに矢印をかき、何倍をかく。
⑤ 1つ分の大きさからいくつ分の大きさの向きに矢印をかき、□を使ったかけ算の式をかく。
- (3) 2本線数直線図をもとに立式をする。

◇ 課題解決のための組織づくり



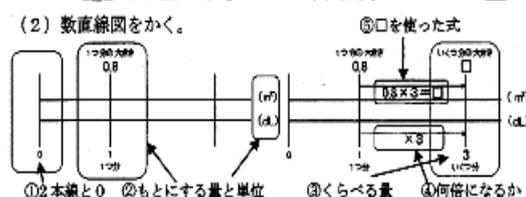
2本線数直線図を使った実践例は、以下に示すとおりです。

《例題1》1 dLで0.8 mLぬれるペンキがあります。このペンキ3 dLでは何mLぬれますか。

(1) 問題文を読み、問題の整理をする。

【4年 小数×整数】

(2) 数直線図をかく。



(3) 立式する。

$$0.8 \times 3 = \square$$

$$\square = 0.8 \times 3$$

(式) 0.8×3